

5. バス交通を取り巻く課題の整理(案)

5.1 現況整理及び意向把握の結果にみる特性や問題点

(1) 人口、世帯の状況から **資料2-1参照**

- ・大南、緑が丘など市南東部においては、人口が多く高齢化率が高いことから移動制約者も多い。

(2) 道路の状況から **資料2-1参照**

- ・イオンモールを始めとした市内及び周辺の大規模集客施設の立地に伴う、市内の主要道路における混雑の発生により、バス運行の遅延が生じている。

(3) 運輸実績データ分析から **第1回会議資料参照**

- ・ワンコイン化により輸送人員は増えたが収支は悪化しており、施策の効果を検証することが望まれる。

(4) 市内循環バス利用者 OD 調査結果から **資料2-2参照**

- ・上北台ルートは、通勤時は平日に比べて休日の利用が1/3程度と少ない。
日中時は平日休日とも利用が多いのは村山温泉かたくりの湯～上北台駅であり、市民総合体育館～村山温泉かたくりの湯の区間は利用度が低い。
- ・玉川上水ルートは、通勤時は平日に比べて休日の利用が極端に少なく効率的な運行となっていない。
日中時は平日休日とも全体に渡って利用が多くみられる。
- ・武蔵砂川ルートは利用が少なく、イオンモールを起点として武蔵砂川駅までと中原方面とで利用が分かれている。
- ・西循環ルートはほとんど利用されておらず、当該ルート周辺地域においてはサービス形態の見直しが必要である。
- ・武蔵砂川ルートと西循環ルートは発着時刻の遅延がみられ、道路混雑の状況を考慮した見直しが必要である。

(5) 市内循環バス利用者アンケート調査結果から **資料2-3参照**

- ・利用者特性から、利用の中心は上北台ルートは通勤者、玉川上水ルートは通勤者と買い物・通院利用を目的とした主婦・高齢者と考えられる。
- ・市内循環バスの利用理由は、「バス以外に手段がない人」や「バス利用が便利」で、問題として意識されているのはダイヤやルート（運行本数、始終発の時間設定、所要時間）。
- ・玉川上水ルートはOD調査では利用者数が多いが、平日の運行本数の少なさの改善を求める声が多く、上北台ルートでは「終発が早い」「モノレールとの乗り継ぎが

悪い」といった意見が比較的多い。

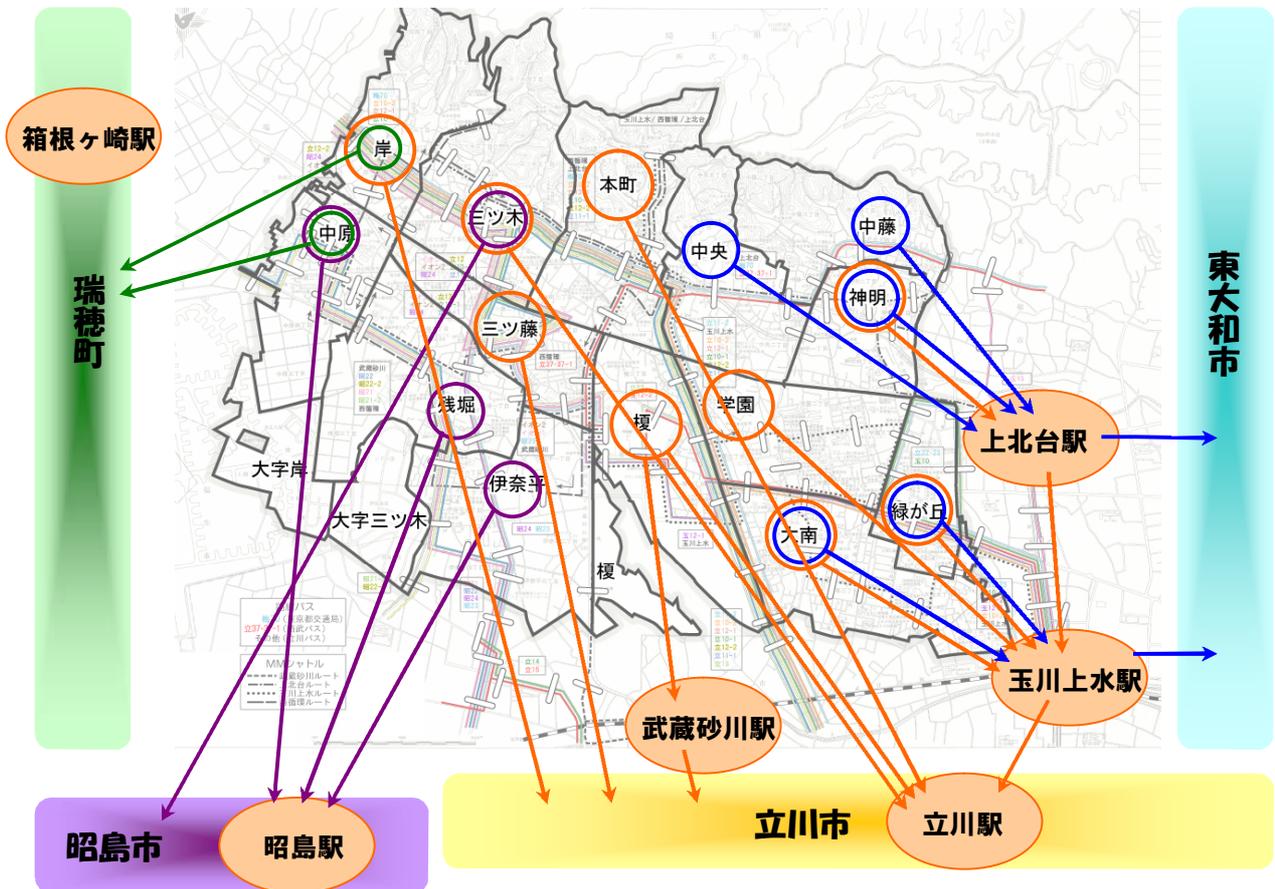
(6) 市内移動手段に関するアンケート調査結果から 資料 2-4 参照

- ・外出用件で頻度が高いのは、通勤通学、食料品や日用品の買い物であり、目的地は東京 23 区や立川市、市内（特にイオンモール）が多い。非鉄道利用者は自分で車を運転し、鉄道利用者は駅までの手段は徒歩・自転車が多いが、路線バスも多い。
- ・循環バスを利用しない理由は「他の交通手段が便利」「迂回が多く所要時間がかかる」が多く、改善によっては利用される可能性はある。
- ・送迎の実態は、通勤通学のための最寄り駅への送迎や、通院のため医療施設への送迎で、所要時間など時間に関する理由が多いことから、所要時間の改善は送迎者の転換も期待できる可能性がある。
- ・バスで行くのに不便な場所のほとんどで既にバス停があり、不便とした理由を見ても問題とされているのは「直通でない」「所要時間がかかる」「運行本数が少ない」ということで、運行頻度や所要時間の見直しが求められている。
- ・バスサービスの変化は、運賃低減よりも運行本数増加の方が若干効果が見込まれる。
- ・バスサービスについては、必要不可欠な手段として、税金を投入してでもサービスを維持することに賛成の人が多い。
- ・新たな公共交通サービスで求められているのは「定時定路線型」で「ある程度自由が利く目的（買い物、通院など）」の支援で、出発時間帯（午前中）の利用が期待されている。

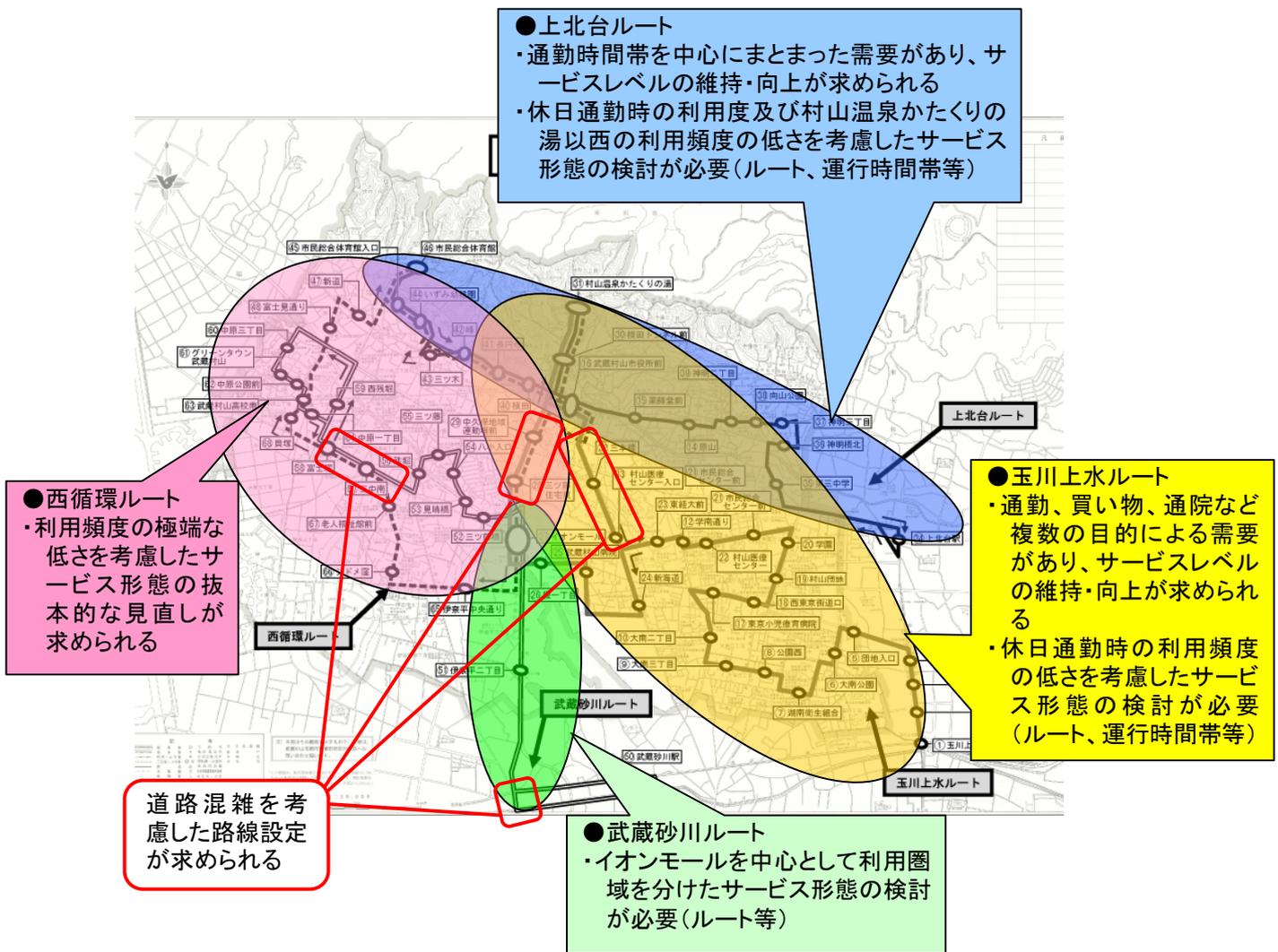
5.2 バス交通を取り巻く課題

(1) 地域別、地域間別の課題

- ◆高齢化への対応
 - ・高齢者人口密度を考慮した運行ルート設定
 - ・大南、緑が丘など市南東部は、人口が多く高齢化率が高く特に配慮が必要
- ◆道路混雑への対応
 - ・イオンモール周辺などの道路混雑の影響を考慮した運行ルート設定が必要
- ◆利用状況・地域特性に応じたサービス展開
 - ・利用者（市民）の移動特性を考慮した方面別、地域別のサービス展開が必要



▲アンケート結果にみられる主な市外の目的地と鉄道を利用する場合の利用駅(平日)



▲市内循環バス交通の利用状況・地域特性に応じたサービス展開に関する課題(案)

(2) 輸送システムに関する課題

- ◆運行頻度の改善
 - ・需要に応じた運行本数の調整が必要
 - ・時間帯による起終点の変更
- ◆運行ダイヤの見直し
 - ・始発時間、乗り継ぎ、待ち時間を踏まえた調整が必要
- ◆運行ルートの見直し
 - ・通勤時、日中時の区分設定の見直しが必要
 - ・市西部は新たな交通サービスも視野に入れた検討が必要
 - ・道路混雑箇所を考慮したルート設定が必要

(3) 運営システムに関する課題

- ◆事業収支の改善
- ◆効率的なサービス運用
 - ・需要に応じたサービス形態の検討の必要性
- ◆他事業者との調整

(4) その他施策検討に係る課題

- ◆ターゲットの明確化
 - ・潜在需要の検証
 - ・利用頻度が上がる条件の具体化（まとまりある需要への対応）
- ◆公共交通利用促進のための施策検討
 - ・大型集客施設の協力。休日は施設を利用した人は鉄道駅～施設間の運賃無料など。
- ◆その他
 - ・ワンコイン運賃の継続導入の是非の検討
 - ・名称の検討